

会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース

卒業作品集



2004年版

ごあいさつ

産業情報学科長 牧田 和久

会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コースは平成5年に開設され、昨年10周年を迎えたところで、前身であるデザイン科時代から、学生達が未熟ながらも卒業研究・制作の作品を中心に、在籍した2年間の作品群を「卒業展」という形で開催し、多くの方々からご批判を仰いできましたが、今回、初めて卒業論文および卒業制作の作品集を刊行することにしました。

本学科では「卒業研究ゼミ」を必修科目に位置付け、1年次の後半からプレゼミとして実施し、2年次より具体的なテーマを設定し、問題解決能力や創造性の研鑽に取り組んでまいりました。

この作品集は、教育する側から言えば我々の教育成果を眼で見る反省材料であり、そこには寸毫の弁解の余地を許さぬ厳しさを持っているものと思いますし、学生諸君にとってはその成果を世に問うものでもあり、また、学生時代の良き思い出のアルバムになるものと期待しております。

さらに、卒業する学生諸君には、卒業研究・制作を通じて経験したプロセスを思い出しながら、他の諸問題に挑戦するエネルギーとして、また、ここで経験した出来事に対して反省することで、更なる飛躍を願っています。

最後に、卒業研究および卒業制作にご支援いただいた学内外の関係者の方々に深く感謝するとともに厚く御礼申し上げます。また、この作品集は広く学外にも配布して、諸賢の御高覧に供しています。皆様の忌憚のないご意見、ご批判を賜れば幸いに思います。

卒業研究発表会の様子



インテリアゼミ



グラフィックゼミ



クラフトゼミ



コスチュームゼミ



プロダクトゼミ

CONTENTS

■ インテリア	穴澤弓 菅原健	現代家相の検証	2
	諏訪間彩 浜坂香澄 原田史穂	座位保持機能を有する生活福祉機器	2
	河井愛 中村恵巳	会津学鳳高校移転案に伴う跡地利用計画	3
■ グラフィック	阿部久架	タイプフェイスの創作	3
	齋藤渚	「color of flowers」～花をテーマにした写真集～	4
	添田恵	雑貨屋のブランド展開としてのショップデザイン	4
	西部由利子	盲導犬普及のためのキャンペーン活動	5
	矢野香織	HTML と Action Script によるホームページの作成	5
	渡邊征代	日中友好交流促進物の制作	6
■ クラフト	荒明なを	漆でつくる 愛着の生まれる家具	6
	小島絵李	オブジェ・飛翔	7
	朝木華子	食器セット	7
	橋本裕仁	小物入れ・パネル	8
	松井かなめ	子供用の食器	8
	山田晶子	正月に使う漆器	9
	渡邊寿子	オブジェ・段階	9
■ コスチューム	浅沼友加里	制作／着装でみられるフォームからのデザイン	10
	石井ゆかり	自然への回帰～異素材と加工材を用いた衣服～	10
	菅野絵梨	異素材や加工材を用いた衣服	11
	小松絵美	昭和のファッションからのアレンジ	11
	山崎孝司	リメイクによるメンズファッション	12
■ プロダクト	赤間美咲 根本絢	会津若松駅周辺地区の再開発についての提案～景観や UD の概念を基に有効利用を考える～	12
	上松瀬英子 喜多和美	環境に優しい路面電車を会津若松市に導入する	13
	緑川由美 村田曜子	地場産業活性化にむけた会津若松の土産づくり	13

現代家相の検証

穴澤 弓 菅原 健

私たちは、現代家相を検証しました。文献による現代家相の動向調査・人々の家相への意識調査・住宅メーカーにおける家相への対応などを検証し、それらの結果をふまえ、家相を優先した住宅を設計しました。



座位保持機能を有する生活福祉機器

諏訪 彩 浜坂 香澄 原田 史穂

各部に可変性を持たせ、小児から大人まで使用できるようにした座位保持機能を有する椅子です。他の家具との調和を考えたデザインにし、木目を活かした仕上げにしました。



各部のサイズ変更が可能で、安定した座位姿勢を長時間保つことができるチルト機能がついている。また、ベルトで体のずれ落ちを防止できる。



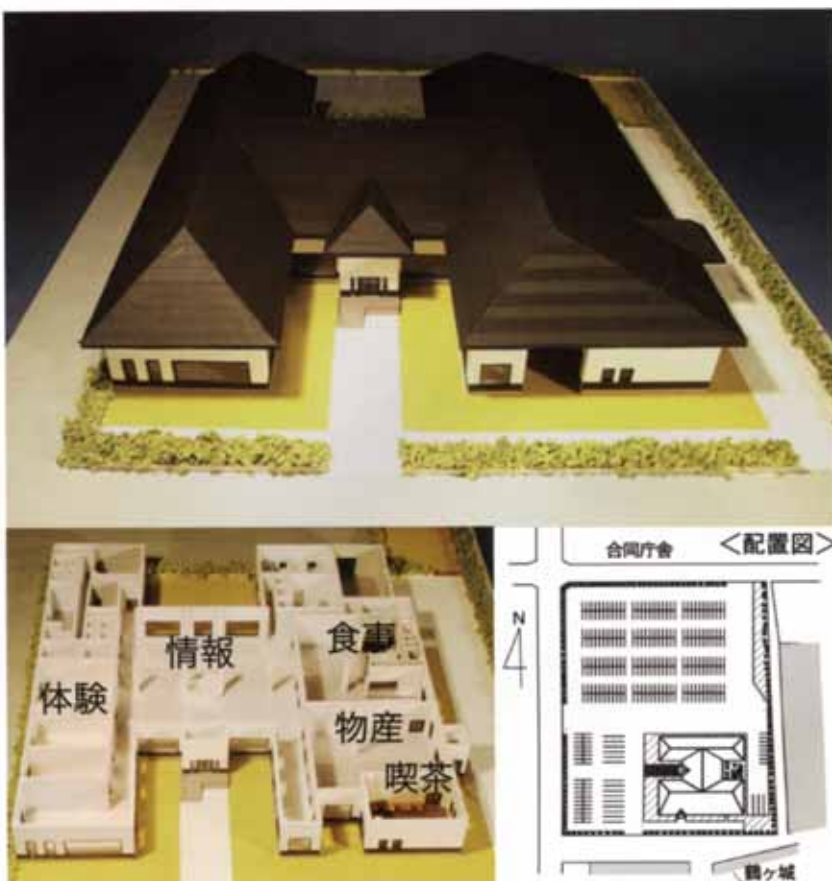
各部のサイズ変更が可能。また、座面中央の股関節外転パッドにより不良肢位の状態を防止する。組み立て式なので移動も容易である。

会津学鳳高校移転案に伴う跡地利用計画

河井 愛 中村 恵巳

県立会津学鳳高校移転後の土地利用方法が未定であること、会津若松市の観光客が減少の一途をたどり、漆・酒造・観光産業が衰退していることの二つの問題点を念頭に、市役所をはじめとする様々な団体からお話を伺い、移転後その土地をどの様に活用したら良いのか考えました。

そこで私達は駐車場を併設した観光施設を提案します。この建物のコンセプトは「会津地方の情報発信の場・アンテナショップへ観光客と市民が共に集う場所」です。会津地方の特産を展示・販売する物産コーナーと、それらを実際に作り、より身近に感じて買う為の体験コーナー、漆や焼き物の器を実際に使い会津ならではの料理を味わってもらう食事コーナーと喫茶コーナー、そして会津をよりよく知って買う為、映像・画像・パンフレットを使って情報を得ることができる情報コーナー等を設け、「会津あいばんしょ」（あいばんしょ＝会津弁で「一緒にいきましょう」の意）という建物の模型を制作しました。外観は博物館や風雅堂のイメージで景観にも配慮し、平屋にしました。



タイプフェイスの創作

阿部 久架

フォントの造形的な部分に注目し、新しいオリジナルフォントを制作しました。これは直線的な要素の多いフォントとして制作しました。

Rokaku



A B C D E F G H I J K L M N

O P Q R S T U V W X Y Z

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ?

「color of flowers」 ～花をテーマにした写真集～

齋藤 渚

撮影にはデジタルカメラを使用しました。花の色を強調したかったので花の色別（赤・白・黄・紫・ピンク）に編集しました。その他ポストカード、しおりなどを制作しました。



雑貨屋のブランド展開としてのショップデザイン

添田 恵

女性客を対象とした雑貨屋のショップデザインをしました。ぬくもり、心地よさ、かわいらしさをコンセプトとして、販売促進につながるグラフィックツールを制作しました。



盲導犬普及のためのキャンペーン活動

西部 由利子

より多くの視覚障害者の方に盲導犬と生きる喜びを知ってほしい、また、盲導犬を自然に受け入れることができる社会となってほしい。そんな願いを込めて制作しました。



HTML と ActionScript によるホームページの作成

矢野 香織

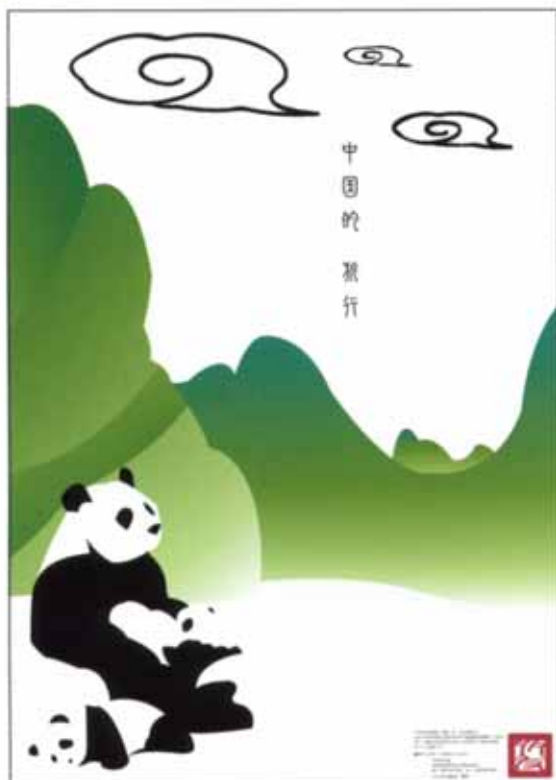
ユーザビリティを考慮しながらTシャツのオンラインショップを想定し作成しました。商品のデザインはドラッグ&ドロップでインタラクティブに選べるようにしました。



日中友好交流促進物の制作

渡邊 征代

日中友好 30 周年という節目を経て、これを機に日中友好を見直そうと思い、日中の交流を言語の面から支援する団体を設定してポスターを作りました。



漆でつくる 愛着の生まれる家具

荒明 なを

『伝えたいもの・残したいもの』をテーマに、「愛着の生まれる家具」を制作しました。丈夫、シンプル、便利を条件とし、それに見合った形を作るのに苦勞しました。



オブジェ・飛翔

小島 絵李

誕生・成長・飛翔と3作制作したオブジェの中の3作目。新しい場所に向かって飛び立つ寸前の、緊張感と不安、そして、飛び立つことができるようになった喜びを表現した。



食器セット

駒木 華子

食卓を演出する食器類です。華やかさを演出したかったので花の形の乾漆をメインに、曲線の多いデザインにしました。



小物入れ・パネル

橋本 裕仁

後生に残したい漆文化で、永く使えるものとしての小物入れと、居住空間に潤いを与えるパネルを制作しました。
小物入れには時の流れをイメージした四季の花、パネルには会津にいた記憶として鶴ヶ城を描きました。



子供用の食器

松井 かなめ

「伝えたいもの、残したいもの」のテーマのもと、食器を制作しました。握りやすいようにくびれを付けたり、お碗の底を安定感のある形にしたりと、工夫しました。



正月に使う漆器

山田 晶子

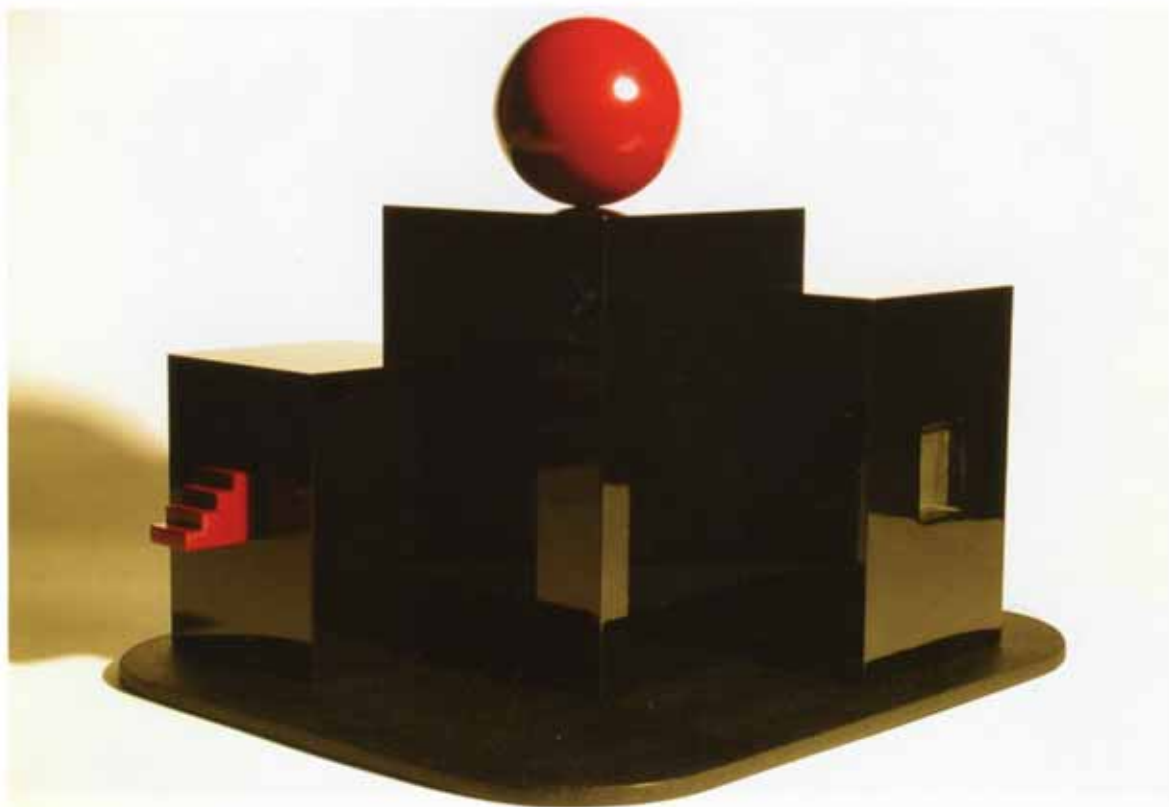
正月をテーマに、重箱・小皿・お盆の3点を制作しました。重箱には漆絵で描き、暖かみと少し華やかさを加えました。重箱とお盆は、統一感を持たせる為に同じ図柄です。



階段

渡邊 寿子

これは、物事の進展過程を形として表現した作品です。階段や小窓を付け、球には錘を入れるなどして工夫しました。配置を変えられ、いろいろなディスプレイができます。



制作／着装でみられるフォームからのデザイン

浅沼 友加里

スタイル1：スカートを着装するフォームから スタイル2：キトンからヒントを得たもの
スタイル3：ワンピースを着脱するフォームから



自然への回帰～異素材と加工材を用いた衣服～

石井 ゆかり

コメント：自然への回帰の流れを三体のスタイルで表現しました。一体目は「科学」イメージ、二体目は「古典・自然」イメージ、三体目は「自然」イメージです。



異素材や加工材を用いた衣服

菅野 絵梨

1つは、たこ糸を用い「編み」を表現。1つは、「描く」事で雄大な自然を表現。1つは、和紙やボンドを用い「折る」を表現。



昭和のファッションからのアレンジ

小松 絵美

スタイル1は戦前の服装をアレンジしました。スタイル2はヒッピーからイメージして服装デザインをしました。スタイル3は70年代のパンタロンからの服装アレンジです。



リメイクによるメンズファッション

山崎 孝司

着なくなった服を使ってアレンジしながら新しい服を制作しました。制作した服は、①民族風、重ね着スタイル ②ミリタリージャケット ③前掛け、小物となっています。



会津若松駅周辺地区の再開発についての提案～景観やUDの概念を基に有効利用を考える～

赤間 美咲 根本 純

観光都市として有名である会津若松市は市街地を中心にまちづくりの取り組みが成されている。今回私達は街の顔となり重要な役割を果たす駅周辺地区の景観や利便性を意識し、開放的空間を感じさせる駅前広場の再開発についての提案を試みた。現在使用されている地下歩道を撤去することにより道路が広々とし、人々が行き来しやすく全体的に見渡せるようになった。道路の道なりに植林や街灯を配置した。街灯は商店街との連係を図るため市街地の街灯に似せたデザインにした。ベンチを所々に設置し、いつでも休憩ができるスペースを作った。緑豊かで落ち着きのある空間を演出している。交通アクセスに関しては駅前広場を利用する車両がスムーズに流れ、利便性を追求した結果、図のような形になった。また、違法駐輪をできるだけ少なくするため有料駐輪場を駅前広場内に設けた。第1・第2合わせて約1600台駐輪が可能である。今回提案した駅前広場にすべての人が満足するかどうかは想像つかない部分があるが、この場所を通じて観光都市・会津若松市の繁栄を期待したい。



駅校舎を出てすぐ目の前には時計台と休憩できるスペースがある。噴水が流れており落ち着きのある空間を感じ取ることができる。道路はとても広々としており、人々が行き来しやすくなっている。



敷地全体に植林・街灯を配置し公園と交通機関を融合した。四季の移り変わりを味わうことができるよう広場中央と乗降所付近にはソメイヨシノ、道路沿いにはイチョウが植林してある。雪対策のため、融雪道路になっている。

環境に優しい路面電車を会津若松市に導入する

上松瀬 英子 喜多 和美

これは内装と外観です。

内装のコンセプトは、「会津を感じながら癒しも感じる」です。会津生活路線として、会津の文化に日常的にふれ、会津の昔ながらの歴史と伝統の良さを改めて知ってもらうため、手摺り・窓枠を漆喰りにし、椅子の布地には見て、触れて良さを感じることのできる会津木綿を使います。

券売機、支払機は共に檜に合うようにと落ち着いた紺色で、ブリペイドカードは、伝統あるものを受け継ぎつつも新しく会津のシンボルとなるモノを取り入れようというメッセージを込めてデザインしました。

外観は、会津の景観に似合うように白を基調とし、盆地の会津に風を作るイメージで流曲線を入れます。そして右回り路線と左回り路線を見て区別できるように流曲線の色合いを変えます。そして、期間限定で走らせたい会津の赤ベコをモチーフにデザインしたものです。春休み、夏休み、秋の観光シーズンや冬休みなど観光客が集まる時期に会津の名物として活躍する予定です。



地場産業活性化に向けた会津の土産物づくり

緑川 由美 村田 曜子

「旅行の後也会津を印象づけられる」、「質の高さを誇れる土産物」をコンセプトに会津漆器と郷土料理をセットにした土産物を制作しました。季節ごと製品を変え販売します。





会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース 卒業作品集



発行：会津大学短期大学部 2004年3月

〒965-8570 会津若松市一箕町八幡字門田 1-1

phone 0242-37-2300 〔代表〕

<http://www.jc.u-aizu.ac.jp/>

表紙デザイン：添田恵

